



市立看護専門学校として、周辺の住宅街と調和しつつ、学び舎としての品格を備えた外観を目指しました。2階とR階の外周に巡らせたPCa（プレキャスト）コンクリート製の庇により、水平ラインを強調したシャープな外観としました。この庇は、夏の日差しを遮り冬の光を採り入れる環境装置として機能し、空調負荷の低減が可能です。また、PCa工法の採用によって打放し面の高精度な質感を実現するとともに、型枠不要による工期短縮も実現しました。

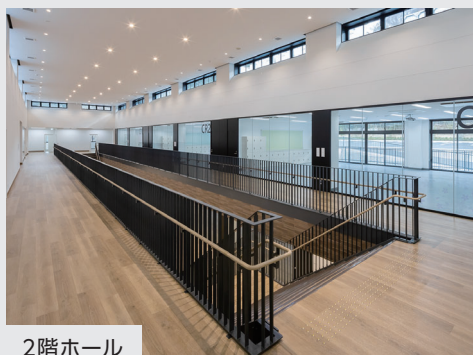
建物概要

所在地：〒678-0031
相生市旭2丁目19-19
竣工年月：令和7年12月
構造：鉄骨造2階建
延床面積：2,616m²
設計主担当：松本 笑 後藤 浩史
構造設計担当：小林 一文

兵庫県相生市にある地元の医療を支える看護師の育成拠点として、新校舎が完成しました。明るく開放的な校舎には、実習室や教室、講堂など学生一人ひとりが安全に、安心して学べる環境となっています。また、太陽光パネルや蓄電池設備を設け、災害時にも対応できるようになっています。



1階ホール



2階ホール

1階と2階をつなぎ、一体感のある中央ホール。学生や先生の声が聞こえる明るい空間です。



1階講堂

ガラス張りの明るい教室で、集中して学ぶことができます。



2階普通教室



2階実習室【北側】

実際の病棟と同じように学べる実習室。



2階実習室【南側】

新生児の沐浴を想定した設備のある実習室。



2階看護実習室【浴室】

在宅での生活を想定した設備を備えた2階実習室。



2階看護実習室【和室】



2階女子トイレ

